

## (様式3)

## 会 議 録

会議の名称	令和元年度 第1回東村山ふるさと歴史館協議会				
開催日時	令和元年7月10日(水曜)午後3時30分～5時00分				
開催場所	東村山ふるさと歴史館 研修室				
出席者及び欠席者	<p>●出席者：  (委員) 大井芳文副会長・栗原康裕委員・時田俊輔委員・島田弘之委員・長嶺すみ江委員・當間シマ子委員・木村茂光委員・浜野進委員  (市事務局) 中澤信也(ふるさと歴史館長)・齋藤文彦(庶務係長)・鈴木貴之(文化財係長)・長澤恵津子(庶務係主任)・小川直裕(文化財係学芸員)</p> <p>●欠席者：石田武久会長</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由	/		傍聴者数
会議次第	1 開会 2 協議事項 ・令和元年度東村山ふるさと歴史館事業の概要について 3 報告事項 4 閉会				
問い合わせ先	教育部 ふるさと歴史館 庶務係 担当者名 齋藤・長澤 電話番号 042-396-3800(直通)				
会 議 経 過					
1 開会 ・令和元年度人事異動報告及び異動者挨拶 ・副会長挨拶 ・館長挨拶  2 協議事項 ・令和元年度東村山ふるさと歴史館事業の概要について  ○齋藤(市事務局) ふるさと歴史館及び八国山たいけんの里の今年度の事業概要についてお話させていただきます。本日は文化財係から学芸員の小川に同席頂いておりますのでよろしくお願ひいたします。それでは歴史館の前半のイベントカレンダーに基づいてご説明させていただきます。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">展示</div> 4月から6月 企画展「税金今昔～租税資料から村がみえる～」 7月20日から 夏休み対応展示「自由研究のたね」 関連イベント 8月22日「子どものうどんづくり」、8月18日「しきものづくり」 9月4日から 資料整理のため3日間臨時休館 10月5日から12月1日 「東村山」地名誕生130周年記念展「狭山茶どころ東村山」 関連イベント 展示説明会と展示講座					

### 講座・見学会

5月26日、6月23日 企画展に付随した展示説明会  
6月2日、16日 古文書講座入門編  
7月5日 伝承サポーターガイダンス

### 体験学習

5月5日 「こいのぼり・かぶとをつくろう」  
7月28日 「れきしかん夏まつり」  
8月1日、8日 「子どもはたおり体験」  
9月7日 文化財講座「月見」

### ロビー展示

3月 節供人形  
4月5月 端午の節供  
6月 菖蒲まつり  
現在 東村山の夏まつり  
8月 お盆・東村山の戦争展  
9月10月 十五夜・十三夜

続きまして、たいけんの里の事業について「はっちこっく通信」のイベントカレンダーをご覧ください。ゴールデンウィーク中には日替わりのイベントを開催させていただきました。また6月の菖蒲まつりの期間に合わせて通常休館している月曜日と火曜日を開館し、菖蒲まつりからたいけんの里を見学していただくという流れを作っていただいで多くの方にご来館いただきました。

### 今後の予定

8月3日 考古体験「親子縄文土器教室」  
8月11日18時から20時 自然観察会「夜の昆虫観察」  
8月15日13時30分から 草木染め体験「身近な植物ではじめての草木染」  
8月18日 考古体験「しきものづくり」

前半の事業の概要としては以上となります。続きまして資料1をご覧ください。令和元年度ふるさと歴史館組織ということで職員の配置をお示ししております。ふるさと歴史館館長は昨年に引き続き中澤が、庶務係は私齋藤と先程紹介した長澤の二人体制で、文化財係は新任で着任しました鈴木係長以下学芸員3名と嘱託職員で運営していきたいと考えております。組織については以上になります。

#### ○副会長

協議事項の中で歴史館事業の概要についてお話がありましたが、何かご質問等ありましたら出させていただきますと思います。

#### ○A委員

今までは年間計画を示していただいていたが今回から半年に変わったという理解でよろしいでしょうか。

#### ○齋藤（事務局）

お見込の通りでございます。

#### ○B委員

毎回大変なお仕事をされていると思うが、取り組みとして今年はどこに重点をおくという話はないのでしょうか。

#### ○館長（市事務局）

毎年教育委員会の中で各課・室・館ごとにその年度の運営方針を作成しています。「平成31年度（令和元年度）ふるさと歴史館運営方針」を4月の教育委員会定例会の中でも報告させていただきました。運営方針なので細かい事業は掲載していませんが皆様に運営方針をお示ししてもよろしいでしょうか。

・平成31年度（令和元年度）ふるさと歴史館運営方針説明

○副会長

どうもありがとうございます。運営方針はわかりました。

○A委員

資料の中に予算関係はありますが来館者数とか何をしたとかはありません。前回の2月の協議会では年度の途中なので2月3月はまだ載っていません。前年度の実績のデータがないと我々は意見の言いようがないと思います。

○副会長

何年間かに遡って参加者や見学者の数がどう変化してきたかとか、各小学校が3学期に見学に来ている人数も出していただけるとありがたいなと思います。

○館長（市事務局）

これは2月の協議会でお示ししたものの確定版で、29年度と30年度を比較したもので過去3年間とか5年間の比較をしたものではありません。来館者数と事業の部分の資料を配付させていただきます。

○A委員

来館者数が前年から500人くらい減っていて、そのうち男の子が300人減っていますが、どのように考えていますか。

○館長（市事務局）

大人・子ども・男・女の細かい分析はしておりません。全体的に来館者数が減ってきている要因として、常設展示室が開館以来ほぼリニューアルなしで、いつも同じ展示なのでそれが1つあるのかなと思います。20年経つので、当然費用はかなりかかりますが常設展示室のリニューアルもそろそろ検討しなくてはならないところにきている状況だと思います。

○B委員

リニューアルはすごい大事業で市全体の計画になり我々の手を離れてしまうので、問題はそうではなくて今回立てている色々な計画がどういう特色があるのか、去年の数字とどう連動して出来ているのかを説明してもらいたい。これはルーティンでやっていますとか、去年は少なかったのが今年は重点的にとりあげるようにしましたという報告を受けると色々提案ができるが、数値や各イベントが別々にあるのではどういう議論をしていいかわからない。

○小川（市事務局）

事業に関しては前館長の時に募集人数に対して参加者が少ないものについて整理をして好評なものを残す工夫をしてきて今のようになっています。

○館長（市事務局）

職員も来館者数を当然意識して企画を考え事業を展開しておりますが、来館者数を上げるためだけではないと考えています。

○A委員

館内の皆さんの動きをスケジュール表で計画的にやっついていかないと1年間いい施策が実行できないと思います。例えば出前授業は学校からの申込みがあって行くのでここには載らないが、過去の傾向で4月に多いとか年末に多いとかそういう傾向値があって、向こうから来ないならこちらから売り込むとかそういう形でスケジュールは作っついていかないといいと思います。

○小川（市事務局）

出前授業は毎年度実施しており、来ていただくだけでなく学校の求めに応じたスキルを持った学芸員が小学校・中学校に出かけて行き説明をするということはやっています。かなり分野に偏りはありますが、祭囃子に関してはその前段階の説明をこちらの職員がおこない、市内に6社ある祭囃子をやっている神社で活動している方々が演奏とかをする。また国語の授業で「たぬきの糸車」という物語が使われていますが求めがあれば糸車を実際に持ってお

伺います。最近はありませんが考古の関係で火おこしをしたり伝統食の関係で出前授業をしたことがあります。小学校・中学校には歴史館でやっているPRのプリントを作ってお配りしています。他の仕事もあるので全校から要望があった場合全部応えるには難しいところもあるかもしれないが、今のところ求めに併せて日程の調整をして100%お応えしています。

○A委員

出前授業は去年の1年間で何校やったんですか。そういうことが数字で結果が出てこない  
と意見の言いようがないと思います。

○館長（市事務局）

今ご指摘がありましたように出前授業に関しては学校に依頼をかけているためこちらには載っていません。その部分も網羅すべきということに関しては大変申し訳ありませんが、それも含めた形で記載をするように考えていきたいと思っています。

○副会長

館の中に子どもたちが見学した感想が貼ってあり、それを見ると子どもたちが喜んで帰ったとほっとします。夏休みなので今以上にたくさん子どもたちが来るといいなと思います。

○C委員

3年生の社会科学習にふるさと歴史館は有益で活用させていただいています。先程出前授業のお話がありましたが、本校でも毎年祭囃子の体験をやっておりふるさと歴史館が窓口になってくださっていてありがたいなと思っています。先程中澤館長から下宅部遺跡について市職員の研修会があるとお聞きしましたが、教員自身も3年生と6年生以外はよく知らないというところがあるので、指導室が4月に異動してきた初任者に対しておこなう市内バス巡りで多磨全生園だけでなく重要文化財である下宅部遺跡も入れていただければ是非アピールしていただきたいと思っています。

○小川（市事務局）

下宅部遺跡の現地で説明はしていませんが、歴史館に来ていただいて下宅部遺跡についての展示説明はしています。

○館長（市事務局）

校長会で指導室長から今日お渡しした税金今昔の展示説明をさせていただきましたが、先生からお話いただいた下宅部遺跡も是非検討させていただいて周知したいと思います。

○副会長

他市から異動してきた先生は必ず市内廻りに行くんですか。何人くらいですか。

○C委員

毎年30人くらい。

○B委員

毎年やっていたら認知度は上がりますよね。

○C委員

前年度の実績から今年度の概要が決まってくると思います。ふるさと歴史館事業で7月と8月の「うどんを作ろう」の参加者が少ないので今年度のうどん作りはなくなったと理解したのですが、片や八国山たいけんの里の事業で自然観察会は人数が少ないのにイベントカレンダーにはちゃんとあります。その辺のところを前年度こういう実績だったがこんな風に分析考察して今年度はこういう概要にしましたとか参加人数は少ないが自然観察会はこんなに貴重な機会なので入れましたとかそんな説明をしていただくと話やすいと思います。学校では今年度の目標値をあげています。次回から来館者数は目標何人、月何人とか具体的にあげていただけるといいのかなと思います。

○D委員

学校も毎年運動会など同じ行事の繰り返しなので、去年の反省点を直していこうと常に意識しています。教員の中でも計画を立てる時に去年こうだったああだったというところが議論になるのでこの場がそういうところになるといいのかなと思います。

○E委員

一生懸命やっていただいて頭の下がる場所なのですが、歴史館のイベントカレンダーを見ると昨年とあまり変わらなくて何か新しいものを試みるとか盛況だったものは続けると

かそんな工夫があったら楽しい歴史館、楽しいたいけんの里になると思います。

○館長（市事務局）

今ご指摘のありました年4回の企画展に関しては、夏と社会科見学の対応については少し中身を変えて同じような感じで、あと2回の企画展は全然テーマの違うものを行っています。その点工夫もしているところもあるとご認識いただければと思います。

○F委員

自然観察会の人数が少ないが、今の子どもが自然から離れてきていると感じます。

○小川（市事務局）

参加者が少ないという話は前から出ていますが、私も市民として参加したことが何回かありますが、自然の専門度が高い担当者やボランティアの方々にとってもよく説明をしていただいて定例は意外に少ないが夏休みの夜の昆虫観察はたくさん参加があります。たいけんの里の事業は有名な考古の場所でもあるし事業内容がとても良いのでもっとPRしていきたい。すぐ成果につながるかはわかりませんが、カラー印刷のチラシを市内に置いて是非続けて、魅力に気づいてもらえればむしろ大人気になると私は思います。そういう形で改善して残っています。

○F委員

チラシをいただいて私も行ってみたいと思いましたが親子イベントだったので残念だなと思いました。1度参加した人は素晴らしいものに出会いがあったわけで、行ってみようとか電話して聞いてみようとか必ずあると思います。

○小川（市事務局）

たいけんの里ではイベント参加者数でお示しはしていませんが、数か月に1回テーマを変えて老若男女を問わず「ちょこっと体験」という無料で出来る体験を行っています。どんぐりでトトロを作るとかは子ども向けにやっています。

○鈴木（市事務局）

事業の方は色々考えています。「うどんづくり」ですが今年は8月22日に予定しています。去年は2回でしたが5・6年生と対象者を限定したこともあり人数が少なかったため、今回は小学校5年生から中学生までに拡充して1回にまとめておこないます。広報の関係では今年度から都庁の観光コーナーや多摩地域のPRコーナーにチラシを置かせてもらえるようになりましたのでたくさん来てもらえると思います。うまくいっている事業も結構ありまして「子ども縄文塾」は学校にも協力いただいて小学校5・6年生に連続の講座で縄文の弓矢があったり編み物があったり今年も定員30名の人気のある事業でそういう体験事業を伸ばしていければと思っています。

○G委員

今までもやっているのかもしれませんが、講習会をやる時に受講者に次回にどんな話を聞きたいかアンケートを取り次の企画に生かさない良い事業はできない気がします。職員や学芸員の考えと歴史館を訪れる市民の考えが意外と違うことがあると思うので、ちょっと視点を変えると興味を持ってくれることもあると思います。また市報とか公共媒体でPRしていると思いますがターゲットに合わせたPR方法も効果的だと思います。同じことを繰り返しても結果は一緒なので視点を変えとか形を変えていって違う効果が得られれば良いと思います。

3 報告事項

4 閉会